

◇◇近畿病院図書室協議会◇◇

平成 23 年度 第 38 回 総 会 報 告

日時：平成 24 年 3 月 22 日（木）

14：15～16：00

会場：神戸国際会館

総会プログラム

開会

1 会長挨拶

2 議長・副議長・書記 選出

議長：春日井 泉江

副議長：畑 美之

書記：椎木 淳美

3 議案審議

1) 平成 23 年度活動報告

2) 平成 23 年度会計・監査報告

3) 平成 24 年度活動方針

4) 平成 24 年度事業計画

5) 平成 24 年度予算

6) 協議会会則の改正について

7) その他の審議事項

8) 平成 24 年度役員改選結果

幹事：井上智奈美（三菱京）

川野 眞樹（京二赤）

佐藤 道子（県光風）

寺澤 裕子（関労災）

事務局会計兼任

藤原 純子（音羽病）

松井美抄枝（大労災）

事務局総務兼任

松尾 知香（石切病）

監査：石川 尚子（住 友）

藤澤 牧子（滋賀医）

（選挙管理委員：田中 文子（済兵庫）

浜田美智代（社神病）

9) 平成 24 年度会長事務局長承認結果

役員会で選出された井出千東氏（藍野
大学中央図書館長）が会長として、増
田徹氏（藍野大）が事務局長として承
認された。

（議案 3）～9）は審議の結果承認された）

閉会

総会員数：127 機関（うち議決権 123 機関）

出席：28 機関

委任状：75 機関

合計：103 機関（会員の 2/3 以上の数を
みだし総会成立）

議案 I. 平成 23 年度活動報告

2011 年度事業活動全体としては、昨年度と同程度の活動が行えた。研修会や勉強会は十分な頻度で行い、参加者も集めることができた。会誌もほぼ年 4 回の発行は達成できているが、発行の遅れはとりもどせなかった。会誌編集部のみに責任を負わせるのではなく、合併号を発行するなど対策を考えていきたい。ホームページについては不具合が見つかり、対処について検討が必要となった。Kinki Webcat は今年度保守管理費の大幅な値上げを提示され、東海地区医学図書館協議会および業者と話し合いの末、あらたな方向を目指す。

対外活動としては、今年度の医学情報サービス研究大会が滋賀の津で行われ、当協議会からも実行委員を 2 名派遣し協力した。また日本病院ライブラリー協会からの提案で、全国の病院図書館協議会を一同に集めた「ネットワーク会議」が開かれ当協議会も参加した。

I-1. 協議会の運営

I-1-1. 会員の状況

会員数：127 機関（会員 123、賛助会員 4）
（2012 年 2 月現在）

入会：1 機関 医療法人社団神鋼会 神鋼病院

退会：1 機関 大阪回生病院

I-1-2. 役員会

1. 活動報告

2012 年 2 月 9 日、社会保険神戸中央病院において 2011 年度役員会が開催された。役員会資料（平成 23 年度議案書草案）に沿って議事進行し、2011 年度の活動報告、会計報告を審議し、一部語句の修正を加えて了承された。また、平成 24 年度の活動方針案、事業計画案、予算案についても同様に審議され、追加・訂正を加えて総会に諮ることになった。

次に、平成 24 年度会長については井出千東 藍野大学中央図書館長が選出された。また、事務局長には増田 徹（藍野大）が再選された。会則に則り、それぞれ 2011 年度の第 38 回総会に諮ることになった。

2. 役員

- 会 長：西尾 晃（社神病 病院長）
事務局長：増田 徹（藍野大）
幹 事：井上智奈美（三菱京）
川野 真樹（京二赤）
佐藤 道子（県光風）
寺澤 裕子（関労災）
〈事務局会計兼任〉
林 伴子（社神病）
藤原 純子（音羽病）
松井美抄枝（大労災）
〈事務局総務兼任〉
松尾 知香（石切病）
監 査：石川 尚子（住 友）
西村 和代（京都南）

I-1-3. 幹事会

1. 活動報告

- 4 回の幹事会を開催し、会の運営にあたった。
第 1 回 2011 年 4 月 18 日（月）大阪 7 名
第 2 回 2011 年 7 月 26 日（火）大阪 8 名
第 3 回 2011 年 10 月 24 日（月）大阪 9 名
第 4 回 2012 年 1 月 30 日（月）大阪 9 名

I-1-4. 事務局

1. 活動報告

- (1) 総会・役員会・幹事会の開催
(2) 会計業務ならびに関係書類の整備
(3) ニュースレターの配信
15 号（2011 年 5 月 20 日）
16 号（2011 年 9 月 9 日）
(4) 交流会の開催
第 3 回交流会 in 大阪（2011 年 6 月 5 日）
参加者：20 名
第 4 回交流会 in 大阪（2011 年 10 月 23 日）
参加者：15 名
(5) 電子ジャーナルのコンソーシアム価格の提案
1 社（EBSCO）のコンソーシアム価格提案
資料を 10 月 4 日会員に送付。
(6) 対外活動
からだところの情報センター WG 会議への参加（2011 年 8 月 8 日）。
各病院図書館協議会による第 1 回ネットワーク会議への出席（2011 年 10 月 1 日）。
震災義援金の送金。
日本図書館協会 50,000 円
日本医学図書館協会 50,000 円
福島県医療機関図書室協議会 辞退
(7) 総会記念講演
日 程：2012 年 3 月 22 日（木）
時 間：13 時 00 分～14 時 00 分
場 所：神戸国際会館 701 号会議室
演 題：細胞移植による脊髄の再生と脊髄損傷の治療
藍野大学中央図書館長 井出 千東 氏

I-2. 各部からの報告

I-2-1. 研修部

1. 活動報告

2回の勉強会、3回の研修会、1回の共催実務者研修会を開催した。

(1) 研修企画

第32回勉強会

日程：2011年7月2日(土)

時間：14時00分～17時00分

場所：京都桂病院大ホール

プログラム：

- ① 近畿病院図書館協議会について
藍野大学中央図書館 増田 徹
- ② 病院図書館の基本業務
洛和会音羽病院図書室 藤原 純子
- ③ KinkiWebcatの使い方
大阪警察病院図書室 畑 美之
- ④ 相互貸借 (ILL)
奈良社会保険病院図書室 山口 智子
- ⑤ 京都桂病院図書室見学

講師：事務局長・研修部員

参加者数：15名

第125回研修会

日程：2011年8月27日(土)

時間：10時00分～17時00分

場所：藍野大学中央図書館

プログラム：

- ① もっとよくわかる医学用語
—ここがポイント!—
高槻赤十字病院用度施設課
濱口 恵子氏
- ② リンクリゾルバシステム SFX (エスエフエックス) について
ユサコ株式会社西日本営業所
天本 聖二氏
- ③ 医中誌 Web (Ver.5) のバージョンアップ内容について
NPO 医学中央雑誌刊行会
松田 真美氏

④ 藍野大学中央図書館見学

参加者数：45名(会員39名、会員外6名)

平成23年度日本医学図書館協会近畿地区会、日本薬学図書館協議会近畿・中四国・九州地区協議会、近畿病院図書室協議会共催 実務者研修会

日程：2011年10月7日(金)

時間：13時00分～16時45分

場所：大阪市立大学学術情報総合センター
医学分館

テーマ：国内2大Webリソースの大規模リニューアルを迎えて 一医中誌 Webとメディカルオンライン—

プログラム：

- ① 医中誌 Web
特定非営利活動法人医学中央雑誌刊行会
松田 真美氏
- ② メディカルオンライン
株式会社メテオ 永江 寧氏
- ③ 事例報告：医中誌とメディカルオンラインの利用事例
奈良県立医科大学附属図書館
大瀬戸貴己氏
- ④ 全体討論・質疑応答

参加者数：12名(KHLA関係)

第33回勉強会

日程：2011年11月12日(土)

時間：13時00分～17時00分

場所：大阪医療技術学園専門学校

第3校舎 3階PCルーム

テーマ：業務を効率化するヒントをつかもう。
Wordの初歩とExcelの初歩から基礎まで

プログラム：

- ① Wordダイジェスト
- ② Excelダイジェスト
- ③ Excelデータベース
株式会社 プレーンスタッフコンサルタンツ
所属インストラクター

参加者数：21名

第126回研修会

日 程：2011年12月10日(土)
 時 間：11時00分～17時00分
 場 所：関西労災病院 大会議室
 テーマ：一歩進んだ情報・研究支援に向けて
 プログラム：

- ① 関西労災病院図書室見学
 - ② 文武両道：医療者にとって論文作成とは
 関西労災病院院長補佐・循環器内科部長
 上松 正朗 氏
 - ③ 病院図書室のオンラインリソース整備～医療従事者を支える重要な役割を担うために～
 Ovid Technologies 岡野真一郎 氏
 - ④ 図書室業務を支えるユーティリティ
 一学認の紹介を中心に～
 国立情報学研究所 学術基盤推進部
 学術コンテンツ課係長 阿菺品治夫 氏
- 参加者数：24名(会員22名、非会員2名)

第127回研修会(予定)

日 程：2012年3月22日(木)
 時 間：10時00分～12時00分
 場 所：神戸国際会館 701号会議室
 テーマ：事例・研究報告会
 プログラム：

- ① 図書館蔵書検索システムの紹介
 京都南病院 図書館
 井上 千聡 氏、西村 和代 氏
- ② 文献複写業務にグループウェアを用いた効果
 刈谷豊田総合病院 図書室
 武田 昭子 氏
- ③ 看護図書の分類法を考える
 島根県立中央病院 図書室
 高橋真由美 氏
- ④ 病図協とともに歩んだ当院図書室の38年～近畿病院図書室協議会の歴史を概観して～
 社会保険神戸中央病院 図書室
 林 伴子 氏

(2) 研修部会議

- 第1回 2011年6月5日(日) 大阪4名
- 第2回 2011年8月27日(土) 大阪4名
- 第3回 2011年11月20日(日) 大阪6名

今年度は1名が退任し、継続の5名で運営した。研修部会は、勉強会や研修会の前後の時間を利用したほか、電子メールにて会議を行った。

(3) 勉強会

第32回は、新規入会機関の担当者と新任担当者を対象とした。経験1カ月から3年半の図書館担当者の参加があった。

第33回は、1人1台のPCが利用できる会場で、WordとExcelの基礎からデータベース作成について、実習形式での講義を実施した。基礎的な内容であったが、日頃使っているソフトであっても改めて知ることが多く、参加者からの評判も良かった。Officeの新しいバージョンでの講義を希望する声があがったので、来年度の企画にしたい。

(4) 研修会

第125回は、今年度の企画の中で最も参加者数が多かった。日本図書館協会のイベントカレンダーや、医療関係図書館の情報サイトなどを通じた広報を行ったこともあるが、医学用語や、検索ツールのバージョンアップなど、病院図書館員の基礎知識からタイムリーな内容のプログラムとなったので、会員外からの参加もあったのではないかと考える。今後の企画の際にも参考にしたい。

第126回は、会員施設病院をお借りして開催した。内容は医学論文作成やオンラインリソースといった図書館員向けの内容とした。図書館見学はPubMed LinkOutや診療ガイドラインのリンク集作成など、担当者の工夫が紹介され参加者から好評であった。また、国立情報学研究所(NII)からは、さまざまなサービスを紹介いただき、それぞれについて深く学ぶ講義を希望する声があがった。大学図書館の所蔵検索ができるようになったCiNiiや、相互貸借業務に病院図書館の参加が増加しつつあるNACSIS-ILL

など、今後の企画に盛りこんでいきたい。

2. 今年度総括

今年度は研修部長をはじめ部員全員が2年目以上となり、例年と同回数勉強会・研修会をよりスムーズに開催することができた。

また、第125回研修会から研修会参加助成を行い、第126回研修会に1名の応募があった。来年度もぜひ継続して多くの方に参加いただきたい。

当協会での開催ではないが、2011年7月23日～24日に滋賀県大津市にて「第28回医学情報サービス研究大会」が開催され、当協会より実行委員2名のほか、タイムキーパーなどでの運営協力、会員からはポスターと口頭でそれぞれ1題ずつ発表された。8年ぶりの近畿地区での開催となり、当協会からも多数参加し全国の医学図書館員と交流を深めることができた。

年々研修会、勉強会の会場探しが難しくなっており、ここ数年同じ施設に会場提供をお願いすることが多くなっている。遠方の会員にも負担なく参加してもらえよう、京阪神地区以外での研修会開催も実現させたい。また、会場を提供していただける会員施設には、積極的に協力いただきたい。

3. 部員

部長：藤原 純子（音羽病）

部員：高橋 育子（姫路マ）

畑 美之（阪警察）

林 伴子（社神病）

山口 智子（奈杜病）

I-2-2. 会誌編集部

1. 活動報告

会誌30巻3、4号および31巻1号を発行。

配布部数：218部（会員127、購読会員65、交換・寄贈26）

印刷部数：各号300部

(1) 会誌内容概略

30巻

3号（発行2011年5月47頁）

特集：図書館のPR

これからの「PR」の話をしよう —いまを生き延びるための図書館経営学—
図書館PRの意義と方法 —いつでも・どこでも・なんでも・PR—
学年別利用説明会と図書室内部のPR
利用案内まつり

4号（発行2011年10月117頁）

特集：司書職制度

病院図書館員の専門職化 —司書をめぐる専門職論争の経験を参考に—
アメリカにおける専門職司書の養成と現状
「ヘルスサイエンス情報専門員」と図書館員の専門性
図書館員の専門性認知を広げるための草の根的活動の可能性 —その認定証を額縁に入れて図書館に飾ろう—

35周年企画：部会活動

研修部のあゆみ

—2001年からの10年間—

会誌編集部この10年

統計調査部のあゆみ

目録サポートチーム

ホームページワーキンググループ

歴代役員名簿

近畿病院図書室協議会年表

(2001年～2010年)

近畿病院図書室協議会研修会記

(2001年～2010年)

総会記念講演 (第27回～第36回)

会員業績集 (2001年～2010年)

「病院図書館」総索引

(第20巻～第29巻)

31巻

1号（発行2012年1月43頁）

特集：機関リポジトリと病院図書館

機関リポジトリと病院図書館のかかわり
—機関リポジトリの基礎から—
公立豊岡病院の「機関リポジトリ」
「国立情報学研究所の学術機関リポジトリ」

構築連携支援事業」を診る

(2) シリーズ掲載

「いますぐ役立つホームページ」

30. MyMed (マイメド)

「図書館員のツボ」

16. 看護助手について

17. 臓器移植法改定

18. バーコードで蔵書点検

「Libpedia —よくわかる用語解説—」

2. 検索のときに目にする基本的な用語

3. 救急救命に関する用語

「ちょっとこぼれ話」

30. (Vol. 30 No. 3)

31. (Vol. 30 No. 4)

32. (Vol. 31 No. 1)

(3) 掲載広告各社

サンメディア

ユサコ

医学中央雑誌刊行会

丸善

南江堂

(4) 編集会議

第1回 2011年6月11日(土) 茨木6名
(オブザーバー含む)

第2回 2011年9月17日(土) 茨木5名

第3回 2012年1月14日(土) 茨木5名

2. 今年度総括

今年度は近畿病院図書室協議会が設立35周年にあたり30巻4号では特別企画を組んだ。従来5年ごとに行っていた企画だが、今回は過去10年分の当協議会活動内容を記録した。また表紙裏には歴代会誌の表紙写真を掲載した。記念号ということで表紙をPP加工した。印字乱れがなくなることから、31巻以降もPP加工を施すことになった。

前年度より引き続き行っている図書の出版作業は、原稿の素案ができ、今後はページ数や内容について著者ととも検討していく予定である。また『わかる医学用語』の改訂版の依頼も著者に行い承諾を得ている。

今年度は、部員が1名入れ替わり、部長が交代した。新しい体制ということもあり、発行の遅れは取り戻せず、なおかつ3冊発行にとどまってしまったが、来年度は4~5冊発行をめざし、発行の遅れを取り戻せるよう部員全員で協力していきたい。原稿の執筆や特集の提案など、会員の皆さまからの積極的な協力が得られるよう期待している。

3. 部員

部長：井上智奈美(三菱京)

部員：寺澤 裕子(関労災)

前垣 志穂(八鹿病)

増田 徹(藍野大)

松尾 知香(石切病)

I-2-3. 統計調査部

1. 活動報告

今年度の統計調査は、平成22年度の会員図書館の実情について調査した。

調査項目は「詳細」と「簡易」を隔年交互に実施しているが、今年度は簡易調査の年にあたり、年次統計調査を実施した。

(1) 図書室統計調査報告書の発行

a. 調査対象期間：2010年4月1日~2011年3月31日

b. 調査対象：全127会員施設中、賛助会員を除く123施設に依頼

c. 調査項目：年度統計調査

d. 作業経過：

2011年9月16日 調査用紙を各施設へ発送

2011年9月19日 ホームページに統計調査
発送の告知と回答依頼

2011年9月30日 受領通知書締切日

2011年10月31日 回答締切日

2012年1月 集計開始

2012年2月1日 データチェック、集計
方法検討

2012年2月24日 報告書発送

e. 回答施設：88施設(回答率71.5%)

(2) 文献の相互利用

—平成 22 年度協議会全体での件数—

〈相互貸借依頼〉 (84 施設)

協議会会員	8,392	20.7 (%)
会員以外の病院	4,479	11.1 (%)
大学図書館	13,806	34.1 (%)
文献手配業者	8,975	22.2 (%)
国立国会図書館	3,428	8.5 (%)
その他	1,401	3.4 (%)
	40,481	(100.0%)

〈相互貸借受付〉 (82 施設)

協議会会員	9,042	53.1 (%)
会員以外の病院	6,050	35.6 (%)
その他	1,917	11.3 (%)
	17,009	(100.0%)

2. 今年度総括

今年度は簡易調査を行った。昨年度調査時には督促作業を綿密に行い、96 施設 (回答率 77.4%) と高い回収率であったが、今年度は残念ながら 87 施設からの回答にとどまった。督促作業をあまり行わなかった影響と考えられる。今年度は昨年の結果を踏まえ、統計調査参加の意識が高まっていることを期待して、督促作業をあまり行わなかったが、次年度は検討課題としたい。

集計方法については、単位の取り方は万円単位のところは注意をはらうものの、原則提出データをそのまま使い、小数点以下となるものについては四捨五入とすることにした。

統計調査は当協議会活動の一つで、会発足後初期の段階から開始している。病院図書館の貴重な資料となっていることはご存知の通りである。参加することによって、自館の状況を知ると同時に、ネットワーク全体の動向を知るためにも、会員の義務としての調査に協力願いたい。

3. 部 員

部長：林 伴子 (杜神病)
部員：他 1 名

1-2-4. ホームページ WG

1. 活動報告

- 2011 年 5 月 レンタルサーバ変更に伴い、保守サポート業者を変更
- 2011 年 6 月 会員専用 ID・パスワードを変更
- 2011 年 7 月 第 28 回医学情報サービス研究大会でホームページを紹介
- 2011 年 7 月・9 月、2012 年 1 月・3 月 運営会議を開催

2. 概 要

近畿病院図書室協議会ホームページ
<http://www.hosplib.info/>

3. 今年度総括

1996 年から運営が始まった当協議会ホームページも今年で 15 年目を迎えた。今年度は協力部員が 1 名増えたことにより、広い視野からホームページの運営を見つめ直すことができた。ホームページ上において、文字間に ¥マークが表示される、適切な改行が行えないなどの不具合が生じている。根本的な原因を取り除くためにはプログラムの大幅な改修が必要であるため、来年度はホームページをリニューアルし、プログラムを一新する予定である。リニューアルに向け、当協議会に必要なホームページの機能を見直し、より魅力あるホームページを目指していくつもりである。

4. 部 員

部 長：佐藤 道子 (県光風)
協力部員：久保 郁美 (日 生)

1-2-5. 目録 ST

1. 活動報告

- (1) 近畿病院図書室協議会蔵雑誌目録 Web 版 (通称：Kinki Webcat) 概要 (2012 年 1 月時点)

<http://webcat.sunmedia.jp/khlacat/>

登録機関数：123 機関

登録タイトル数：4,676 タイトル

(内、メディカルオンライン
タイトル：887)

所蔵レコード数：39,130 レコード
 (内、メディカルオンライン
 : 14,192 (16 機関))

(2) 近畿病院図書室協議会所蔵雑誌目録 Web
 版利用状況 (2011 年 1~12 月)

トップページアクセス：41,301

雑誌検索利用ログ： 95,600

機関検索利用ログ： 9,689

(3) 目録サポートチーム会議

日 時：2011 年 11 月 5 日 (土)

13:00~16:00

場 所：京都第二赤十字病院

参加者：目録サポートメンバー 5 名

(4) 近畿病院図書室協議会、東海地区医学図書
 館協議会、合同目録システム会議

日 時：2011 年 11 月 28 日 (月)

13:00~17:15

場 所：愛知がんセンター 8 名

2. 今年度総括

本年度、目録サポートチームは 5 名で活動した。活動として円滑な会員間の文献複写の相互利用に繋がるよう、Kinki Webcat の整備を行い、今後の運用について協議のため部会を開催した。現在も登録タイトル数は増加する中で、書誌データの整備を進め、最新データへの更新とデータ整合性の保持に努めた。電子資料への対応としてメディカルオンラインへの一括登録を始めて約 1 年半が過ぎ、当初登録施設の 11 施設から 16 施設に増加したが、電子資料を契約する施設が増加した状況を鑑み、メディカルオンライン外の電子資料についての対応を考えていきたい。

本年度、目録システム業者 (サンメディア ; 現ナレッジワイヤ) によるサーバーのクラウド化に伴う保守管理費の大幅な値上げに対し

Kinki Webcat と同システムを使用している東海地区医学図書館協議会 (TOMcat) とナレッジワイヤとの合同協議を開催した。今後、廉価で利用しやすい目録 Web として TOMcat と合同目録システム構築に向けての協議を継続することにした。

2011 年 9 月には Kinki Webcat のログインパスワードの変更希望受付を各会員へ送付した。同様の働きかけを今後も年 1 回程度継続して行い、会員の Kinki Webcat の利用を促していく。来年度は相互利用のマナーを含め円滑な会員間の相互利用を目指し、活動を行っていきたくと考えている。

3. 部 員

部長：川野 眞樹 (京二赤)

部員：春日井泉江 (名 記)

高須賀京子 (松山市)

高橋真由美 (島 根)

林 伴子 (社神病)

I-3. 会員業績

(当協議会内関係での発表は除く)

(1) 佐藤道子 (県光風)

発表 「近畿病院図書室協議会 (KHLA) の
 ホームページについて」

第 28 回医学情報サービス研究大会 (滋賀)

2011 年 7 月 23 日

(2) 寺澤裕子 (関労災)、川野眞樹 (京二赤)、

高橋真由美 (島根)、武田昭子 (刈谷総)、

林 伴子 (社神病)、松尾知香 (石切病)

ポスター発表 「ピクトグラムとは 一病院図書館・患者図書館で役立つピクトグラムを考える」

第 28 回医学情報サービス研究大会 (滋賀) 姓

2011 年 7 月 23 日、24 日

議案Ⅱ. 平成 23 年度会計・監査報告

(資料1) 平成 23 年度予算

■収入の部		(単位:円)
科 目	金 額	備 考
正会員会費	3,690,000	123 施設×30,000 円
賛助会員会費	200,000	4 施設×50,000 円
購読会員会費	390,000	65 施設×6,000 円
広告掲載料	232,000	31 巻 1-4 号×5 社
前年度繰越金	2,614,756	
計	7,126,756	
未収金	574,000	購読会員会費 19 施設×6000, 30(3-4) 2 施設×3000=120,000 円 広告掲載料 174,000 円 2010 年度新規入会未請求 2 施設×4 万円=8 万円 2010 年度賛助会員会費未請求 4 施設×5 万円=20 万円
合 計	7,700,756	

会費未収金 ※今年度予算に含まず	1,290,000	※会費未収金は 2011 年度中に回収作業を行い、平成 24 年度予算で 使途を決める。
---------------------	-----------	---

■支出の部		
科 目	金 額	備 考
〔事業費〕		
研修部	400,000	
会誌編集部	300,000	30 巻 3-4 号、31 巻 1-4 号分
統計調査部	60,000	
目録 ST	100,000	
ホームページ WG	20,000	
対外活動費	100,000	関連団体への派遣費用
その他事業	760,000	研究助成金 3 件×10 万円、交流会 4 回×5 万、新規事業など
事業費合計	1,740,000	
〔管理費〕		
会誌発行費	3,600,000	30 巻 3-4 号、31 巻 6 号分×40 万、本出版費用 120 万円
目録メンテナンス費	500,000	
HP メンテナンス費	500,000	
資料費	25,000	
資料管理費	50,000	
会議費	100,000	総会、幹事会
旅費交通費	300,000	総会参加助成金 3 万円×5 人を含む
通信運搬費	100,000	
印刷製本費	50,000	総会資料
諸謝金	55,000	総会特別講師 5 万円
消耗品費	30,000	
業務委託費	20,000	
予備費	600,000	災害見舞金 5 万円×5 協議会など
雑費	30,756	
管理費合計	5,960,756	
合 計	7,700,756	

(資料2) 平成23年度活動計算書

平成23年4月1日～平成24年2月29日

(単位：円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員	3,780,000	
賛助会員	350,000	
正会員入会金	30,000	
賛助会員入会金	0	4,160,000
2. 受取寄付金	0	0
3. 事業収益		
会誌購読会費		
研修会参加費	337,500	
広告掲載料	10,000	
刊行物売上	801,000	
メディカルオンライン使用料	21,600	
	6,314	1,176,414
4. その他収益		
利息	300	
雑収入	11,420	
研究助成金返還	86,957	98,677
経常収益計		5,435,091 ①
II 経常費用		
1. 事業費		
研修部	252,903	
会誌編集部	148,191	
統計調査部	38,316	
目録ST	69,094	
ホームページWG	9,920	
対外活動	84,430	
その他の事業	112,497	
事業費計		715,351
2. 管理費		
会誌発行費	1,218,065	
目録メンテナンス費	61,670	
HPメンテナンス費	236,056	
資料費	20,916	
資料管理費	22,890	
会議費	76,477	
旅費交通費	78,780	
通信運搬費	83,610	
印刷製本費	18,948	
諸謝金	50,000	
消耗品費	18,039	
業務委託費	0	
予備費	202,900	
雑費	0	
管理費計		2,088,351
経常費用計		2,803,702 ②
当期正味財産増減額		2,631,389 ③
前期繰越正味財産額		2,614,756 ④
次期繰越正味財産額		5,246,145 ④

①+③=8,049,847

②+④=8,049,847

(資料3) 平成23年度経常費用事業費内訳

(単位:円)

	会議費	旅費交通費	通信運搬費	印刷製本費	資料費	諸謝金	消耗品費	業務委託費	雑費	計
1. 事業費										
研修部	24,195	24,840	60,400	38,569		100,000	3,849		1,050	252,903
会誌編集部	3,811	31,970	25,860		8,030	78,520				148,191
統計調査部		1,480	19,840	16,996						38,316
目録ST	6,434	62,660								69,094
ホームページWG	1,800	5,760	240	2,120						9,920
対外活動	3,080	81,270	80							84,430
その他の事業	74,599	27,520	9,680				698			112,497
事業別合計	113,919	235,500	116,100	57,685	8,030	178,520	4,547	0	1,050	715,351

(資料4) 貸借対照表兼財産目録

平成24年2月29日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
手元現金	273,654		
三井住友銀行	22,939		
ゆうちょ銀行(総合)	2,023,332		
ゆうちょ銀行(振替)	2,926,220		
流動資産合計		5,246,145	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			5,246,145
II 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		2,614,756	
当期正味財産増減額		2,631,389	
正味財産合計			5,246,145
負債及び正味財産合計			5,246,145

平成23年度活動計算書と事業費内訳、貸借対照表兼財産目録を監査した結果、適法に処理、記載されていると認めます。

平成24年3月15日

西村知^印 石川尚^印

議案Ⅲ. 平成 24 年度活動方針

事務局長の交代から一年が過ぎ、これまでとはちがった視野で当協議会を見渡すことができた。各施設事情もあろうし、当協議会とのスタンスもさまざまあっていいと思う。ただ協議会活動自体は図書館員の専門性の維持のために不可欠であり、図書館員各自が積極的にかわるべきであるが、現状はそうならないように感じる。現在の図書館を取り巻く状況の厳しさを、実は図書館員自身が引き起こしているということにならないよう、当協議会を魅力あるものにしていかないといけないという責任を感じた。またそれが当協議会にとっても図書館界にとってもよりよい方向へむかう最善の手段だと考えている。

研修会や勉強会、それに会誌の発行は会員の資質向上につながり、来年度においてもいい企画を立てて会員をひきつけたい。積極的に会員に発表や投稿を促し、研究助成や研修会参加の交通費助成も続けて、会員をサポートするとともに、次代の図書館員を育てていきたい。会員が気楽にふれあい、協議会活動の入口になるという点で、交流会やホームページは重要と考えている。ホームページはプログラムに問題があるので、その改修を急務としたい。Kinki Webcat は、病院図書館というサークルにおいて必要不可欠なツールであり、大切に育んできたが、来年度は大きく転換することとなる。病院図書館の一大総合目録となる可能性もあり、慎重に準備を進めていきたい。対外交流におい

ては、今年度日本医学図書館協会が進めている「からだところの情報センター」と、日本病院ライブラリー協会が進めている「ネットワーク会議」も動向を見て協力していきたい。その他大きな事業としては、今年度発行できなかった大阪大学生命科学図書館の諏訪敏幸氏の図書と、過去発行して好評であった濱口恵子氏の「わかる医学英語」の改訂版の出版を予定している。

議案Ⅳ. 平成 24 年度事業計画

1. 教育研修活動

- * 研修会・勉強会の開催
- * 研修会参加交通費の助成
- * 関連団体の研究・研修会への案内と参加奨励
- * 研究助成金制度の継続
- * 総会参加助成制度の継続
- * 地域交流会の継続

2. 出版広報活動

- * 会誌「病院図書館」の季刊発行
- * 図書の出版
- * ホームページの公開とそのメンテナンス
- * 会誌・会報バックナンバーの収集保存
- * ニュースレターの発行

3. 医学文献情報活動

- * 医学雑誌現行情報の収集
- * 雑誌総合目録 Kinki Webcat の新たな整備

4. 年次統計などの調査活動

- * 年次統計と相互貸借の調査

5. 対外活動

- * 関連団体との交流・連携

議案V. 平成24年度予算

資料5参照

(資料5) 平成24年度予算

■収入の部			(単位：円)
科 目	金 額	備 考	
正会員会費	3,930,000	122施設×30,000円、未収分270,000円	
賛助会員会費	200,000	4施設×50,000円	
購読会員会費	154,500	21施設×6,000円、4,500円(31巻)未収/後納4×6,000円(30巻)	
広告掲載料	232,000	31巻×5社	
前年度繰越金	5,246,145		
合 計	9,762,645		

■支出の部			
科 目	金 額	備 考	
〔事業費〕			
研修部	400,000		
会誌編集部	350,000	31巻2～4号、32巻1～4号分 @5万	
統計調査部	100,000		
目録ST	100,000		
ホームページWG	100,000		
対外活動費	100,000	関連団体への派遣費用	
その他事業	800,000	研究助成金3件×10万円、交流会4回×5万、 会誌バックナンバー電子化・新規事業など(30万円)	
事業費合計	1,950,000		
〔管理費〕			
会誌発行費	5,100,000	31巻、32巻7号分×41万、本出版費用(諏訪氏120万、濱口氏100万)	
目録メンテナンス費	200,000	月額1万円	
HPメンテナンス費	1,500,000	ウェブサイト再構築費用	
資料費	25,000	情報の科学と技術20,916円	
資料管理費	30,000	日達物流(協議会資料)	
会議費	100,000	総会、幹事会(総会は平成23年度分を含む)	
旅費交通費	300,000	総会参加助成金3万円×5人を含む	
通信運搬費	100,000	郵送料1回およそ1万円	
印刷製本費	50,000	総会資料	
諸謝金	55,000	総会特別講師5万円(平成23年度分)	
消耗品費	30,000		
業務委託費	70,000		
予備費	220,000		
雑費	32,645		
管理費合計	7,842,645		
合 計	9,762,645		

議案VI. 協議会会則の改正について

当協議会は、役員や部活動を担う人材の慢性的な不足に悩まされており、会員館以外の方、とりわけOBに部活動を部員としてお願いでき

ないかと考えた。会則を見る限り、その点は現行のままでも抵触しないが、部活動の項目がないなど不備を感じたので、添付の通り改正したいと考える。(提案者：幹事会、資料6参照)

(資料6)

近畿病院図書館協議会会則 2012年3月22日改正

第1条 (名称)

本会は近畿病院図書館協議会(病図協と略称)という。(以下本会という)

第2条 (目的)

本会は会員相互の緊密な連携と協力により病院図書館の充実、および医療情報活動に貢献することを目的とする。

第3条 (組織)

本会は、第2条の目的に賛同する病院図書館をもって組織する。

第4条 (事業)

本会は会の目的を達成するために、次の事業を行う。

- 1 図書館職員の研究・研修・講演会等。
- 2 雑誌所在目録の編集と発行。
- 3 会誌の発行。
- 4 文献の相互貸借。
- 5 その他必要と思われる事業。

第5条 (入会および退会)

本会に入会を希望するところは別に定める資格を必要とする。

退会を希望する場合は、その旨の届出を必要とする。

入会に際しては、入会金を徴収する。

第6条 (義務)

本会の会員は次に定める義務を負う。

- 1 会費の納入(会費は年額30,000円とする)。
- 2 総会への出席。

3 その他、本会が定めた事業への協力、参加。

第7条 (役員)

本会には次の役員をおく。

会長	1名
事務局長	1名
幹事	若干名
監査	2名

役員は会員の中から選出し、総会で信任を得なければならない。会長、事務局長については役員会において選出する。~~七、総会において会員の承認を得なければならない。~~

第8条 (会議)

1 総会

総会は年一回開き、本会の最高議決機関とし、活動方針、予算・決算の承認、役員を選出、会則の変更を行う。臨時総会は必要に応じて随時会長が招集する。

2 役員会

~~役員病院の管理者および図書館担当者~~会長、幹事、事務局長で組織し、会の主要事項を審議する。

3 幹事会

~~幹事病院の図書館担当者~~と事務局長で組織し、会の運営に当る。

第9条 (部活動)

本会は事業の遂行に必要な部をおくことができる。各部は、総会の議決もしくは幹事

会が必要を認めたとき、設置もしくは廃止できる。各部の部員は幹事会の承認を経て、会長が委嘱する。

第10条（会計）

本会の経費は、会費・賛助金・寄附金・入会金・事業収入をもって充てる。

本会の決算に関する書類は、監査を受け、総会の議決を経なければならない。会計監査は会員の中から監査員を選出し、総会において会員の承認を得なければならない。

第11条（事務局）

本会の事務局は藍野大学中央図書館におく。
〒567-0018 大阪府茨木市太田3-9-25

第12条（改訂および変更）

本会の会則の改訂および変更は、総会において決定する。

第13条 本会は賛助会員をおくことができる。

[付則]

- 1 本会の役員任期・会計年度は総会より次期総会までとする。
- 2 本会則は1974年11月16日から実施する。
- 3 本会則に定めていない事項については内規で定める。
- 4 本会則は1975年11月29日改正施行する。
- 5 本会則は1978年3月30日改正施行する。
- 6 本会則は1979年3月24日改正施行する。
- 7 本会則は1984年3月24日改正施行する。
- 8 本会則は1998年3月26日改正施行する。
- 9 本会則は2000年3月30日改正施行する。
- 10 本会則は2004年3月30日改正施行する。
- 11 本会則は2005年3月25日改正施行する。
- 12 本会則は2011年3月24日改正施行する。
- 13 本会則は2012年3月22日改正施行する。

[内規]

1 入会資格

この会に入会を希望するところは、次の資

格を必要とする。

- (1) 図書室(館)があること。(併設も可)
 - (2) 司書および図書室(館)業務を担当する者がいること。(兼任も可)
 - (3) その他の医療関連機関の入会を拒まないこと。
 - (4) 入会の可否については幹事会の承認を得ること。
 - (5) 各事業活動への参加が可能なこと。
 1. 雑誌などの所蔵データの提出
 2. 相互貸借の実施
 3. 研修会への参加
 4. 会誌への投稿協力
 5. 統計調査データの提出
 - (6) 総会への出席もしくは委任状の提出が可能なこと。
 - (7) 要請があれば、2年以上幹事または各部員を担当すること。
 - (8) 強制退会後の再入会には、未納分の一括納入を条件とする。
- #### 2 賛助会員制度
- 当協議会事業を賛助する個人または団体を賛助会員とする。
- (1) 会員と同じく、出版物の入手、研修会等への参加は可能とする。
 - (2) 制限事項
 1. 総会での議決権
 2. 役員や委員の委嘱
 3. 会員相互貸借事業への参加
 - (3) 会費等は幹事会で定める。
- #### 3 入会時期
- 当協議会に入会する時期は、年度初めとする。
- #### 4 強制退会
- 会費未納入施設のうち催促後も納入しない会員は、幹事会の決定により届出なく退会とする。